



## パラダイスエア・ロングステイプログラム 2017 及び フェスティバル/トーキョー2017 への参画について

### 【パラダイスエア・ロングステイプログラム 2017】

#### ■パラダイスエア・ロングステイプログラムとは？

パラダイスエア「PARADISE AIR」は、松戸駅西口徒歩 1 分の場所にあるパチンコ店「楽園」(Paradise)の上層階にあり、かつてホテルだったビルを活用して運営されているアーティスト・イン・レジデンスです。アーティスト・イン・レジデンス(Artist In Residence)とは、芸術家に一定期間、滞在場所と制作場所を提供し、移動と制作活動を支援する取り組みのことで、頭文字をとって **AIR** と略されます

宿場町として栄えた松戸駅前には、江戸と水戸をつなぐ拠点として多くの旅人が行き交いました。古くから住む住民の邸宅には、過去に訪れた文人・画人が宿泊料代わりに残した作品が今も残ると言われます。

パラダイスエアでは、こうした松戸宿の歴史と伝統をふまえ「一宿一芸」をコンセプトとする、アーティストの国際的な滞在制作拠点となることを目指しています。現在は日本の新たな文化の中継地点を目指す仕組みとしての「ショートステイ・プログラム」、公募によって選出されたアーティストの渡航・滞在・作品制作を 3 ヶ月間フルサポートする「ロングステイ・プログラム」、アーティストと地域をつなぎ多様な学びと交流を促す「ラーン・プログラム」の 3 つを軸として活動を行なっています。昨年は 43 組のアーティストが滞在制作しています。



今年度のロングステイ・プログラムでは、公募テーマを「TOUR」とし、昨年の 2 倍となる世界 92 カ国・地域から合計 614 名の応募が集まりました(昨年世界 66 カ国 296 名)。この応募総数は茨城県守谷市に拠点のあるアーカスに次ぐ(応募総数 717 名)人数です。今回はゲストキュレーター長谷川新氏、特別ゲストの水野大二郎氏(デザインリサーチャー/慶應義塾大学)および斉藤洋一氏(松戸市戸定歴史館館長)らを迎え厳正なる審査を行った結果、2 名の招聘アーティストが選ばれました。



## ■アーティストプロフィール

クリストフ・トラッカー

Kristof Trakal

出身：ドイツ

分野：アーティスト、作家、映像作家

略歴：

ベルリンとロサンゼルスを拠点とするアーティスト。リサーチを元にその土地ならではの作品を制作する演劇集団「Occult Acting Group」主宰。また、ベルリン拠点のリサーチ集団「Neoliberalism StudyGroup」のメンバーでもある。作品を制作するプロセスも重視する彼の作品は、しばしばコラボレーションや一般参加者を募りおこなわれる。近年は、社会からドロップアウトしてしまった人の為に社会復帰を促すトレーニング映像教材を制作するグループに注目、映像プロジェクトを進めている。またメキシコ、グアテマラ、東部ドイツでの考古学と旅行の関係性についてのエッセイフィルムを制作している。



## ミンウー・リー

Minwoo Lee

出身：韓国（カナダ国籍）

分野：アーティスト

略歴：

韓国出身、アメリカを拠点に活動するカナダ国籍のアーティスト。物質性を映し出すインスタレーションを投影する、コンセプチュアル・フォトを制作している。彼の作品は、物体のイメージとそれを支えるものとの関係性を問いかける。反転する、円環させる、一致させる、ずらす、折る、広げる、といった折り紙のような繊細な物体の扱い方を通じて、行ったり来たりを繰り返す palindromic（回文）性を獲得した表現が特徴。写真分野にて美術学修士を取得した後、カナダ、アメリカ、韓国、中国にて展覧会を行なった



## ■活動予定

9/3(日) : オープンスタジオ／作品制作の過程を公開します。

会場：PARADISE AIR 13時～19時

10/21(土) : 成果発表・滞在報告会（※会場・時間等は未定）



## 【フェスティバル/トーキョー2017 への参画】



フェスティバル/トーキョー (F/T) は、東京で開催される国際的な舞台芸術フェスティバルとして、舞台芸術の魅力を多角的に提示し、国境、世代、ジャンルを越えて多様な価値が出合い、互いに刺激しあうことで、あらたな可能性を拓くことを目指しています。

記念の第10回となる F/T17 は、「新しい人 広い場所へ」をテーマとし、国内外から集結する同時代の優れた舞台作品の上演を軸に、各作品に関連したトーク、映画上映などのプログラムを展開します。

その中で昨年立ち上がった「まちなかパフォーマンスシリーズ」では、都市や郊外のさまざまな場所で、それぞれに異なるスタイルを持ったアート、パフォーマンスに展開するシリーズで紹介しています。そのプログラムの一つに“松戸”のパラダイスエアが、F/T17 に参加することが決定しました。中野<sup>しげき</sup>成樹 + フランケンズによる『半七半八 (はんしちきどり)』のクリエイションをお手伝いします。

### ■まちなかパフォーマンスシリーズ

都市やその郊外のさまざまな場所で、それぞれに異なるスタイルを持ったアート、パフォーマンスを展開するシリーズ。「劇場」から出た作品たちは、上演地の歴史や文化、既存のコミュニティにじかに触れつつ、観客、参加者との柔軟であたらしい関係を紡ぎ出す。

### ■演目：中野成樹 + フランケンズ『半七半八 (はんしちきどり)』

#### 「あの親分と歩く、江戸でも東京でもない町・松戸」

古今東西の名戯曲を現代の日常に移植する「誤意識」上演で知られる、中野成樹 + フランケンズが4年ぶりに F/T に登場する。江戸の情趣を豊かに盛り込む時代小説『半七捕物帳』(はんしちとりものちょう)をベースにした新作の舞台は、東京と川一つを隔てた千葉県の松戸。観客は、とある事件をめぐる謎を追い、市内のいくつかの場所を巡っていく。鍵を握るのは、江戸の親分・半七と、彼に憧れる松戸の男・半八。ある日、その名の通りなんでもスッキリ割り切る半八 (8/2) のもとを、割り切れぬ顔の半七 (7/2) が江戸から訪れてー。



作・演出：中野成樹 ドラマトゥルク：長島 <sup>かく</sup> 確

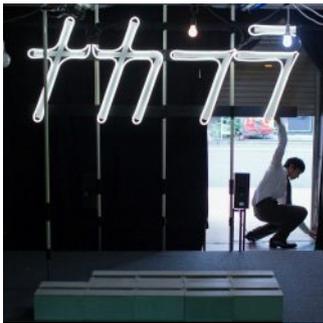
原案：岡本綺堂『半七捕物帳』より

### 中野成樹



1973年、東京生まれ。舞台演出家。中野成樹＋フランケンズ主宰。日本大学芸術学部演劇学科専任講師。舞台作品創作と共に、近年は教育、地域活動にも視野を広げる。最近の主な作品は『えんげきは今日もドラマをライブする vol.1』(16)、『ナカフラ演劇展 1・2』(12, 15)。最近の主な活動は、としまアート夏まつり『おばけ教室』(13-16)、文化庁「日中韓文化芸術教育フォーラム WS」(14)、ほか。F/Tへの参加は『四谷雑談集』＋『四家の怪談』(13)がある。

### 中野成樹＋フランケンズ



2003年結成。通称ナカフラ。時代・文化風習等が現代日本と大きく異なる、いわゆる「翻訳劇」をとりあげ、「いまの自分たちの価値観と身体」で理解し体現する。大胆なアレンジに応援もいただくが、原作ファン、および伝統に与する演劇ファンからのお叱りも多い。10年より外の刺激＋フランケンズ（通称：ソトフラ）名義で、劇場外にて応用演劇活動も展開中。

### 会場

PARADISE AIR、FANCLUB（受付）、江戸川河川敷、古民家スタジオ（松戸探検隊ひみつ堂のある古民家）予定

### 日程

10/6（金） 15:00

10/7（土） 11:00/15:00

10/8（日） 11:00/15:00

10/9（月） 11:00/15:00

### 上演時間

上演時間 150分（予定）



## 言語

日本語上演

## 一般発売

※8月27日（日）10時から前売発売開始

自由席（整理番号つき） 一般前売 3,500 円/ 当日 4,000 円

学生 ※当日券共通。当日受付で要学生証提示

¥2,300

## 高校生以下

※当日券共通。当日受付で要学生証または年齢確認可能な証明書の提示

¥1,000

## 購入方法

F/T チケットセンターにて発売

① オンライン予約：festival-tokyo.jp (24 時間受付)

② 電話予約：03-5961-5209 (8 月 32 日～11 月 12 日まで、受付時間は 12:00～19:00、  
8 月 23 日・27 日のみ 10:00 より受付)

※詳細はフェスティバル/トーキョー17 パンフレットの 30 ページを参照

### 【問い合わせ先】

経済振興部文化観光国際課 ☎ 0 4 7 - 3 6 6 - 7 3 2 7